

## 原料費調整制度に関する算定方法変更について

いつも室蘭ガスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

白鳥台・高平地区はプロパンガスにてみなさまへ供給させていただいておりますが、近年プロパンガス元売各社は安定供給を目的として、従来の中東依存型から米国産プロパンガスの調達量を増加させております。北米におけるシェールガス革命に伴い米国産プロパンガスの生産量が増加したほか、新パナマ運河の開通によって北米⇄極東の航海日数が飛躍的に短縮する等、米国産プロパンガスの輸入環境が大幅に向上いたしました。

これらに伴い、日本のプロパンガス輸入量における米国産シェアは、2016年には3割強を占めるまでになりました。この取り組みは、サウジアラビアなどの中東産ガス産出国への牽制にもなり、CP価格の下落・安定化に繋がっていると考えられており、今後も米国産プロパンガスの輸入量は増加する見込みです。

当社はこれまで財務省貿易統計CIF価格を原料費調整額の算定基準としておりましたが、今後も安定的にプロパンガスの供給を継続し価格体系の透明性・安定性を更に高めるため、これまでの算定基準のCIF価格から、サウジアラムコ社（サウジアラビア）が毎月決定する輸入価格に基づいたCP価格70%、米国産MB価格（モントベルビュー市場）30%の比率を用いた「CP・MB合成指標」を導入することといたしました。

つきましては2020年10月分ガス料金より、原料費調整額の算定基準を従来のCIF価格からCP価格とMB価格を加味した、より現状に則した算定方法に変更させていただきます。何卒事情をご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 記

## 1. 原料費調整額調整指標

【現行方式】 財務省貿易統計CIF3ヵ月平均

【新方式】  $(合成CP \times TTS + 中東フレート) \times 70\% +$   
 $((MB + MB調達経費) \times TTS + 北米フレート) \times 30\%$

※合成CP ⇒ CPサウジアラムコ社（サウジアラビア）が毎月決定する輸入価格の2ヵ月平均値

MB ⇒ 米テキサス州モントベルビュー市場のプロパン市況

MB調達経費 ⇒ 主にパナマ運河通峡に関わる費用・ターミナルフィー等

TTS ⇒ 為替レート

フレート ⇒ 運送船賃

2. 実施日 : 2020年9月1日より

※2020年8月31日以前より継続してご使用のお客さまについては9月検針日の翌日より適用となるため10月検針分より新たな算定方法へ変更となります

3. 基準平均原料価格の変更

【現行】 53,970円

【変更後】 43,800円

4. 平均原料価格算定方法の変更

【現行】 CIF価格(3ヵ月~5ヵ月前CIF平均)

【変更後】 CP・MB合成指標

(前々月合成CP×前々々月TTS+前々月中東フレート)×70%+

((前々々月MB+前々々月MB調達経費)×前々々月TTS+前々月北米フレート)×30%

5. ガス料金表について

(1) ガス小売供給約款・暖房用季節契約・空調夏期契約・ゆーだん契約

↓

基本料金および基準単位料金については現行料金表より変更ございません

(2) エコ割契約

使用量区分	基本料金	〈税込〉	
		基準単位料金 現行(0.1 m <sup>3</sup> あたり)	基準単位料金 変更後(0.1 m <sup>3</sup> あたり)
0.0 m <sup>3</sup> から 25.1 m <sup>3</sup> まで	2,530 円 00 銭	26 円 24 銭	25 円 12 銭
25.1 m <sup>3</sup> から 45.7 m <sup>3</sup> まで	3,916 円 00 銭	20 円 74 銭	19 円 60 銭
45.7 m <sup>3</sup> を超える	4,876 円 30 銭	18 円 65 銭	17 円 50 銭

※基本料金に変更はございません

6. 10月分ガス料金の適用単価について

10月ガス料金に適用される調整単位料金については、9月検針時に別途お知らせいたします

以上